

第3回北九州市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部会議

日 時 令和3年12月22日（水）10時00分～

場 所 北九州市役所本庁舎3階 大集会室

会 議 次 第

1 本部長挨拶

2 報告事項

ワクチン接種の進捗状況について

資料1

3 協議事項

追加接種（3回目接種）について

（1）2回目接種からの接種間隔について

資料2

（2）追加接種（3回目接種）の接種体制について

資料3

4 その他

小児（5～11歳）への接種について

資料4

ワクチン接種の進捗状況

(1) ワクチン接種者【12月21日（火）時点】

区 分	接 種 者	接 種 率 (12歳以上)
1回以上	724,000	85.6%
2回完了	715,000	84.6%

(2) 年代別接種率【12月21日（火）時点】

年 代	接 種 済 (2回完了)	接 種 済 (1回以上)
65歳以上	90.8%	91.5%
60～64歳	91.5%	92.1%
50～59歳	87.8%	88.5%
40～49歳	84.5%	85.4%
30～39歳	77.3%	78.6%
20～29歳	72.5%	74.3%
12～19歳	71.3%	73.4%

2回目接種からの接種間隔について

1 国の考え方

(1) 原則

2回目接種から8か月以上後

(2) 8か月以上の経過を待たずに接種可能な対象者

(R3.12.17付 厚生労働省事務連絡)

- ① 医療従事者等、高齢者施設等の入所者・従事者
- ② 通所サービス事業所の利用者・従事者
- ③ 病院・有床診療所の入院患者

⇒ 6か月以上の間隔をおいて実施することができる。(①を優先)

④ 一般(上記以外)の高齢者

⇒ 7か月以上経過した後に実施することができる。(令和4年2月以降)

2 市の対応方針

国の方針に沿って、適切に対応を行う

(1) 上記の①～③に該当する者

準備が整った医療機関・施設から、接種間隔を6か月に前倒す。

(①を優先的に実施)

(2) 〃 ④に該当する者(一般の高齢者)

1月については、8か月经過者から順次、予約・接種を開始する。

2月以降は、2月中旬までには7か月经過者に接種券が届くよう、接種券を順次前倒して発送するとともに、接種体制を当初予定より拡充し、速やかに接種間隔を7か月に前倒す。

3 集団接種、個別接種の日時・会場等

実施月	区分	実施日時		実施会場	使用ワクチン
1月	集団接種のみ	土・日	14～18時	2会場 (あるあるCity、コムシティ)	ファイザー社製
2月	集団接種(※1)	水・木・土 日	14～17時 10～13時、14～17時	13会場 (下記)	武田/モデルナ社製
	個別接種	各医療機関指定の時間		調査中(※2)	ファイザー社製

(※1) 小児（5～11歳）への接種実施の場合、実施日時については一部変更の可能性有。

(※2) 事前調査における接種希望機関：約320機関。正式な意向調査を踏まえ、1月下旬に決定予定。

< 2月の集団接種会場について >

区	会場名	会場規模
門司区	1 旧大連航路上屋	中
小倉北区	2 あるあるCity2号館1階	中
	3 リバーウォーク北九州地下1階	中
小倉南区	4 小倉南生涯学習センター	中
	5 曾根体育館	中
若松区	6 クレカ若松	小
	7 二島特設会場 (イオン若松ショッピングセンター側)	小
	8 北九州学術研究都市 情報技術高度化センター1階	小

区	会場名	会場規模
八幡東区	9 日本製鉄大谷体育館	中
	10 コムシティ3階	小
八幡西区	11 穴生ドーム	中
	12 グランモール1階東側	中
戸畑区	13 イオン戸畑 ショッピングセンター2階	中



4 追加接種（3回目接種）を円滑に進めるための方策

対 応 内 容		
1	予約枠	接種券の送付者に対し、 <u>十分な予約枠を提供</u> (概ね「 <u>1か月先まで</u> 」開放予定)
2	接種券	12月下旬から、 <u>「2回目接種から8か月」が到来する方を</u> <u>1週間ごとにまとめ、順次送付</u> (1月下旬以降、高齢者については順次前倒し予定)
3	受付 (電話)	<u>1～3月：300回線</u> ※1・2回目高齢者予約時：150回線
4	受付 (窓口)	区役所窓口に加え、 <u>市民センターに予約専用窓口を開設</u> <u>(1/24(月)～3月末(予定))</u> (市内約130か所、月～金/9～17時)

5 交接種の有効性、安全性について

(1) 国の決定内容 (R3.11.16 付 厚生労働省事務連絡)

追加接種(3回目接種)においては、1・2回目接種時のワクチンに関わらず、mRNA ワクチン(ファイザー社製または武田/モデルナ社製)の使用が適当(交接種を容認)

(2) 市民への情報提供について

市としては、交接種の有効性や安全性等について、国から発信された情報に基づき、接種券同封のチラシや市ホームページ等で丁寧に周知を行う。

(どちらのワクチンを接種しても十分な効果があり、副反応についてもワクチンによる差がないとされている。)

小児（5～11歳）への接種について

1 国の状況

- ・厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会）で審議中
- ・市町村に対し、接種を実施することとなった場合に備え、体制確保準備の依頼あり（早ければ来年2月から開始の可能性があるとされている）
(R3.11.16付 厚生労働省事務連絡)

2 本市の対象者数、想定接種率

- (1) 対象者数 約 55,000 人
- (2) 想定接種率 「80%」を前提として、体制確保予定

3 市の対応方針（接種体制等）

今後、国の方針やワクチン供給時期・供給量等を踏まえ、接種体制を決定予定

（個別接種を中心に、集団接種の併用等も含め、市医師会、小児科医会と協議中）